

ソフィーの活動通信 INベナン VOL.2



ココナッツの木



サツマイモ栽培の様子

Bonjour!!皆さんこんにちは。現地での生活もすでに半年が経ちました。同僚や近所の人たちとも関係構築ができて、毎日とても楽しいです！

～2025.4 サツマイモ栽培計画開始！～

ラロ市にあるラロ村落開発支所に赴任してから4ヶ月。

ラロ市が抱える課題について同僚と話し合った結果、サツマイモを育てることによって子供の栄養を改善するプロジェクトを始めることになりました！

「ラロ市から170kmの距離にあるアジョウン市で、栄養価の高いサツマイモを育てているよ」と先輩隊員から教えてもらい、その蔓を購入しました。支所の敷地内にある畑のほか、近隣農家から畑を貸してもらったり、畑仕事のできる支所配属の警備員に、蔓を植える前に土を耕してもらったりと、たくさんの協力を得ました。収穫は8月を予定しています。どうかこのプロジェクトがうまく進みますように！



野菜販売の光景

～2025.6 職場でCHATGPT研修！？～

ある日、支所長が同僚たちを集めて「会議をするぞ！」「パソコン持参で！」と号令をかけました。パソコンを持って参加する会議は滅多になく、私も興味深く参加させてもらいました。その日のテーマはなんと！chatGPTの使い方でした。まず無料のアカウント登録から始まり、chatGPTの概要説明を受け、実際にchatGPTに質問もしました。ここで驚いたのは、アカウント登録だけで45分もかかったことです！ベナンではPCを学ぶ機会がないのか...私はいつ日本でPCスキルを得たのか...と様々な問いが芽生えた日でした。



chatGPTの講義

自己紹介

名前：祖父江なつみ（あだ名はソフィー）

隊次：2024年2次隊

派遣国：ベナン

職種：コミュニティ開発

京都との関わり：母が京都出身。転勤族だったため、小6～高3までの青春時代（7年間）を堀川丸太町と岡崎で過ごしました。



国際交流イベント「SPORTS DAY」報告

6月8日(日)、京都府南部の精華町と、国際交流のボランティア団体 せいかグローバルネットと共催で、国際交流イベント「第5回 Sports Day」を開催しました。参加者は67人(外国籍の方は13人)、ボランティアスタッフは14人でした。

当日は、子どもから大人まで、多くの参加者が集まり、年齢や国籍や言葉の壁を越え、自然と助け合いながら協力して、心からスポーツを楽しむ姿が見られました。

初めは、まず、けがをしないようにラジオ体操を、木津南中学校チャレンジ部の生徒のリードで始めました。外国人には、とても珍しいようで、びっくりしている人がいて、そのびっくりしている外国人を見て、びっくりしている日本人がいました。(アンケートより)

プログラム2番は、「よさこいソーラン」で、1回目は木津南中学校チャレンジ部による力強い踊りを披露し、2回目は参加者全員で踊りました。外国の方にも赤い法被を着て踊っていただきました。プログラム3番は、ベトナムのじゃんけん大会(ワォントッスィ)。ベトナムの方とじゃんけんを3回して、勝った人3人には、ベトナム製のグッズを賞品として提供していただきました。ベトナムのじゃんけんは、4種類あり、人差し指1本の「井戸」と、他の3種類との勝ち負けのルールが複雑でしたが、賞品をゲットしようと、みな真剣に取り組んでいました。その後、他の外国人にも自国のじゃんけんを紹介してもらいました。ところが、シリアには、じゃんけんがないそうで、これには、参加者全員が驚いていました。

プログラム4番は、ベトナムのゲーム(タットロン)を、アレンジしたゲームで、サークルの中の玉を靴を投げて、外に出すゲームです。ルールは単純ですが、大人でも、難易度は高いゲームでした。プログラム5番のお箸リレーと、プログラム6番の追っかけ玉入れは、木津南中学校チャレンジ部が中心になり、ルール説明を、日本語と英語でしたり、ゲーム中の実況放送もしていました。マシュマロを箸で挟んでのリレーです。挟むのが簡単だったのでよかったという人、豆のように挟むのがもっと難しいほうがいい人、感想はいろいろありましたが、外国人が、上手に箸を使う様子には、多くの方が感心していました。

追っかけ玉入れは、逃げる相手チームの籠を追っかけ玉を入れます。玉の多く入ったほうが負けです。玉の個数がそのまま相手側の点数に入るので、大逆転の可能性があるため、みなさん、全力疾走で、がんばっていました。

最後は、ベトナムとアメリカのダンスを教えてもらいました。それぞれの国の伝統的な音楽とダンスで、会場全体が、笑顔と歓声に包まれました。

参加者からは、一体感を味わえてよかった。楽しかったので、家でも練習したい。最後にいい思い出ができてよかった。いろいろな国の人たちとの交流が楽しかった。みんなあきらめずに一生懸命頑張っていた。素敵な休日になった。ゆるい感じが参加しやすかった。普段見られない子どもの積極的な姿に感動した。異文化交流の大切さを肌で感じた。参加者の中には、今年が2回目や3回目という方もおられ、また参加したいなどの、感想も多くいただきました。参加者の満足度は非常に高かったことがうかがえます。

また、運営サイドにおいても、準備段階から当日の運営まで、多くの青年海外協力隊経験者や地域の支援者が連携したり、JICA関西の協力により、他府県から参加された留学生がいたり、まさに「共創の場」となりました。スポーツを通じて築かれる信頼と友情の力を、改めて実感できる一日となりました。

今回のスポーツデーの成果を踏まえ、今後はさらに地域内外のネットワークを強化し、関係団体を増やし、多文化共生を体験的に学べる機会を継続して創出していきたいと考えています。(会場には、JICA海外協力隊のポスターを貼らせてもらいました。)

特に、JICA海外協力隊OB・OGが、精華町の皆さんと連携し、次世代の青少年に対して国際協力や異文化理解の意義を伝える活動へと発展させることが期待されます。今回得られた知見とつながりを、今後の活動に活かしてまいります。





JOCA令和7年度評議員および第14回定時社員総会

長野県駒ヶ根市に集まりました！

年に1度の意見交換！

6月21日（土）午後、公益社団法人青年海外協力協会（JOCA）の評議員及び定時社員総会出席のため、各都道府県の協力隊OB会会長が長野県駒ヶ根市に集まりました。

京都も所属する近畿ブロックは、年に一度の意見交換となる総会の場で積極的に質問しました。

協力隊事業を応援し、OBOG会も工夫して地域での国際協力活動を進めているので、その後の懇親会では、会の運営や活動について語り始めると話題が尽きませんでした。日本マラウイ協会の理事も参加しており、昨年KOCAが主催したマラウイイベントを「すごいね！話を聞きたかったんだ」と興味を持って話を聞いていただき、マラウイのつながりがまた一つできました。



Event Schedule

世界のいのちを巡る展～いのちの物語と文化の違いをめぐる～

11月7日（金）～9日（日）／ウイングス京都

JICA海外協力隊 帰国発表会

11月8日（土）、12月7日（日）／ウイングス京都

人々の温もりに触れる旅～カリブの楽園 ドミニカ共和国～

12月12日（金）～14日（日）／No.317 ANEWAL Gallery

第24回日本語による外国人のメッセージコンテスト

12月14日（日）／精華町役場交流ホール

詳しくはKOCAホームページ、
Facebookで御確認ください



JICA海外協力隊事業については、JICAホームページをご覧ください。

KOCAネット（メーリングリスト）は、各種行事の案内や登録者相互の情報交換・コミュニケーションを図る場として運営しています。登録ご希望の方は、office@koca.or.jpにメールを送り、お名前とメールアドレスをお伝えください。KOCAの情報は、ホームページ、Facebook、Instagramで随時配信しています。

HP



Facebook



Instagram



も見てね！

KOCAは、京都府在住のJICA国際協力ボランティア事業への参加経験者を中心とした組織です。国際協力活動で得た貴重な体験を生かして、異文化理解の促進、地域の国際化と国際理解のために様々な活動を展開しています。

編集・発行 特定非営利活動法人 京都海外協力協会（KOCA）

<郵送先> 〒600-8127 京都市下京区梅湊町83-1 ひと・まち交流会館 京都 2階

京都市市民活動総合センター メールボックス NO.27